

花色も花形もたくさん楽しめる山野草。

< 植物名 >

カランセ
エビネ

水やり

土の表面が乾いたら、たっぷりと水やりをする。適度な湿り気を保つ。

置き場所

早春から開花まではよく日に当て、花後から秋にかけては半日陰に置く。

用土肥料

肥料を好むため、追肥をする。花壇では腐葉土を多く入れる。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

株分け

冬越し

特記事項なし。

使い方 グランドカバー、庭植えなど

学名 Calanthe

英名

属名 エビネ

科名 ラン

性状(分類) 宿根草

原産地 日本

花の色 桃 黄 茶 緑

開花期 4～5月

購入時期

草丈 20～30cm

ID 402

季節 春

JFコード 17748



冬越しと置き場所

日陰でよく育ち、湿った日陰などを好む。早春から開花まではよく日に当て、花後から秋にかけては半日陰に置く。霧と冷たい風を避けるようにする。

その他の解説

肥料を好むため、追肥をする。花壇では腐葉土を多く入れる。やや湿った日陰地を好むため、落葉樹の木陰や建物の北側などのグランドカバーに利用する。木の根元や木陰に植える。日陰でよく育つため、庭植えもたやすい。

特徴1

以前は山野によく見られた宿根草。今は園芸品種がたくさんある。土の表面が乾いたら、たっぷりと水やりをする。適度な湿り気を保つ。

特徴2

以前はごく普通に各地の山野に見られたが、今では自生種は絶滅の危機に瀕し、主に鉢栽培で楽しむ野草になった。園芸種の交配が盛んで、バラエティーに富んだ花形や花色を楽しむことが出来る。緑化用にはエビネ、キエビネ、タカネエビネを用いる。